

# 大津町都市計画マスタープラン（案案）パブリックコメント結果

【実施期間】平成30年12月3日（月）から12月18日（火）

【実施場所】都市計画課、総合政策課、生涯学習センター、おおづ図書館、まちづくり交流センター、町ホームページ

【提出意見】4件（都市計画課書面1件、総合政策課書面1件、おおづ図書館書面1件、電子メール1件）

【提出いただいたご意見の概要と、ご意見に対する町の回答】

※「ご意見の概要」は、いただいたご意見のうち、重要なポイントのみを示しています。原文は、4ページ以降を参照ください。

※[ ]内の記載は、パブリックコメント実施時の素案のものを示す。

## 提出意見 ①

ご意見の概要	ご意見に対する町の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>大津町まちづくり基本条例の精神を踏まえ、都市計画マスタープランを実現してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町では、「大津町まちづくり基本条例」に基づき、まちづくりを推進しています。P91に示しますように、当条例の基本理念を本計画の基本理念に掲げ、この基本理念にもとづきまちづくりを進めていきます。</li> </ul>

## 提出意見 ②

ご意見の概要	ご意見に対する町の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>大津町は、阿蘇、大分方面の交通の要所にあり、大きく伸びる可能性がある。</li> <li>子育て世代は以下の3点に不満があるようだ。これらを緩和できれば、大津に住むことを望んで貰えると思う。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 住宅地は中心市街地（役場やJR肥後大津駅）から遠かったり、高台に多く、徒歩や自転車での移動に不便。</li> <li>② ショッピングが楽しめる施設がない。遊ぶ場所が少ない。</li> <li>③ 県立高校の学区制により、熊本市内の進学校に入るのに不利。</li> </ol> </li> <li>若い世代に多く住んで貰えるように以下の対応をしてはどうか。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平坦地に多くの優良宅地の供給とショッピングの楽しめる商業施設を誘致。場所は、国道57号と国道443号に近接する区域が最適と思われる。</li> <li>② 県立高校の魅力向上に向けた支援が必要。学区の廃止が理想である。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P94に示しますように、将来の人口減少や、財政の悪化などを見据えて、まちづくりを進めていく必要があります。そのため、交通利便性が高く既存都市機能が集積する区域を中心に都市機能の集積を図り、徒歩や公共交通を利用して生活することが可能なコンパクトな市街地を形成していくこととしています。</li> <li>また、国道57号と国道443号に近接する区域についても、P95に示しますように、空港に近く幹線道路に接する利便性や用途地域に接し、肥後大津駅にも近接することから、この優位性を活かして、町民の雇用の創出、町の発展に寄与する拠点整備について検討を進めていくこととしています。</li> <li>なお、公共交通については、P99に示しますように、バス路線を補完する形で、公共交通空白地帯に乗り合いタクシーを運行しており、現状を維持しつつ、効果的なサービスを提供する交通体系の再構築に向けて取組むとともに、持続可能な交通体系に向けて公共交通の利用を促進することとします。</li> <li>県立高校の魅力の向上については、今後の参考とさせていただきます。関係機関と情報を共有し対応について検討させていただきます。</li> </ul>

提出意見 ③

ご意見の概要	ご意見に対する町の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清正公からの水利事業によって豊かな水文化をもたらし、「疎水百選」や「世界かんがい施設遺産」に認定され、まちの最大の宝ともいえる上井手（用水）を軸に、宿場町の良さや交通の要所であることを活かして、まち全体を「水」をテーマにしたフィールドミュージアム（野外博物館）に仕立ててはどうか。</li> <li>・ カートで町内を周遊したり、民間の有志で観光ルートを作ったりするなど、官民が協力してまちの良さをアピールしていきたい。カートは、ホンダが開発したものであれば双方の宣伝にもなり、将来的には高齢者の日常生活の足にもなるかもしれない。</li> <li>・ 上井手は、石橋、眼鏡橋が5基も残る珍しい景観を形成している。そのため、上井手沿いは、宿場町として良好な町並み形成に向けて取り組み、来訪者へのおもてなしを行うなど、他のまちにない、このまちならではの魅力の創出・取り組みを行い、休息の場として過ごしてもらってはどうか。良好な町並み形成に向けて、建物の修景整備に対する補助があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P100に示しますように、上井手について、歴史的な景観を活かした水車、寺社等をめぐるフットパスを整備し、水と緑のネットワークを形成していくこととしています。 P105に示しますように、上井手沿いを通る豊後街道等の歴史的風情を醸し出す建築物の保全を図るとともに、上井手などを活かした歴史的な町並みの再生を図ることとしています。 また、P124に示しますように、上井手等をめぐる観光ルートを設定することとしています。</li> <li>・ フィールドミュージアムやカートでの周遊、建物の修景整備に対する助成、他のまちにない魅力の創出については、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

提出意見 ④


ご意見の概要	ご意見に対する町の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスタープランはボリュームが多いので、まとめた概要があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市計画マスタープランの要点を整理した概要版についても公表いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行計画は平成12年からスタートしている。平成21年から30年までの実績を知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成12年に策定の現行計画において位置付けた事業の実施状況は庁内委員会で確認しています。この中で、中期（10～20年の間に実施予定）とした事業のうち主な実績は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動公園周辺での新市街地開発事業（新駅の設置が不可能で事業費も膨大で中止となり、周辺開発も未実施）</li> <li>・ 中心市街地活性化事業（区画整理事業や駅周辺整備等を実施済み。今後も継続）</li> <li>・ 主要地方道菊池赤水線は、圃場内整備地区を実施済み。今後も継続）</li> <li>・ 国道443号から運動公園を結ぶ道路（一部整備済み。今後も継続）</li> <li>・ JR肥後大津駅及び豊肥本線の高架化（事業費が莫大にかかることから中止）</li> <li>・ JR肥後大津駅から空港へのアクセス手段（空港</li> </ul> </li> </ul>

	<p>ライナーの導入により実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物修景事業（実施中。今後も継続）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後までのIoT、少子高齢化や働き方改革などの変化を考えて、その流れと大津町都市計画との関連性が知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P93に示しますように、当面は人口の増加が見込まれているものの、将来の減少、財政の悪化、交通弱者の増加などの諸問題に対応するため、各種方策を実施することとしています。</li> <li>・IoTや働き方改革についての都市計画分野での対応については、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後の町の姿として、P55[P55]に記載されているビジョン「夢と希望がかなう 元気大津」は、一般的過ぎて曖昧に感じる。もう少しわかりやすい(定量的な)目標値を上げられないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘は、町の最上位計画である第6次大津町振興総合計画のビジョンであり、様々な施策を網羅するため抽象的なビジョンとなっています。P91に示しますように、本計画の基本理念は、『人と自然と産業が調和した「誰もが住みよく誇りのもてる町 おおづ」』としています。このような目標を掲げているため定量的な目標値を掲げていませんが、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の優先度をつけると良いのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な優先順位づけは困難ですので、実現化方策において、短期、中期、長期に分けて実施時期を示すこととしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意向調査結果では、比較的高齢者に調査母数が偏っているの、「福祉」が重視されている調査結果となっている。実際の年齢構成に配慮し、町民へは適切に説明を行っていくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当計画の検討にあたっては、意向調査以外に、地域ごとに開催したワークショップでのご意見も踏まえ、庁内の関係各課の課長によって組織された検討委員会、学識経験者や議員などで組織された都市計画審議会において、幅広い視点で検討を重ね、施策が偏らないようにしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・P89[P89]の5. 1まち[都市]づくりの基本的な課題の整理は、一覧表で示されるが、系統的で集团的(ブール図のような)全体俯瞰があるとよい。それぞれの施策が持つ意義が伝わりにくいとを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集团的な全体俯瞰図のように整理すると複雑になりますので、一般の住民の方にもわかりやすいように表形式で整理しました。</li> <li>また、「まちづくりの基本的な課題の整理」では、これ以降に展開する将来像や全体構想との関係性を確認できるように、この構成に概ね対応させた項目ごとに基本的課題を整理しています。</li> <li>この基本的課題と施策との関係性については、上述のとおり将来像や全体構想の各項目で課題に対応する施策を示していますが、特に主要な関係にあるものについては、P93のまちづくりの方向性において文章を用いて示しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津町の経済を活性化することが一番優先される事だと思う。地産地消のような自己完結型ではなく、いろいろなコンテンツやサービスを広域(熊本市都市圏から九州全域の経済圏)で循環させていくための施策が中心にあり、その実現へ向けた土地改良や防災、福祉がつながるような相互に関連した都市計画になれば良いのではないかと。そうすれば施策の優先順位が明確になり、予算や人の投資計画もわかりやすくなるのではないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の最上位計画である第6次振興総合計画に基づき、各種施策を幅広く行っているところであり、この振興総合計画に即して都市計画マスタープランを作成しています。</li> <li>町の経済活性化も重要な課題であり各種取り組みを行っていますが、ご指摘のサービスを広域で循環させていくための施策については、振興総合計画の見直し時の参考とさせていただきます。</li> </ul>

【提出いただいたご意見（原文）】

※[ ]内の記載は、パブリックコメント実施時の素案のものを示す。

提出意見 ①	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ P127[P135] マスタープランの実現化に際し「大津町まちづくり基本条例」の精神が単なる御題目に終り、画餅にならぬ様、切に希望します。</li><li>・ 「この条例」が多く空文化している現実がある様に感じています。</li></ul>

提出意見 ②	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昨今の菊陽町の発展は目を見張るものがある。それと較べると我が大津町は大分見劣りをする感が否めない。菊陽が熊本市に近いという立地もあるが果たしてそれだけで片付けられる問題ではないと思われる。大津町も阿蘇、大分方面への出入口として交通の要所にあり、施策を持ってすればまだまだ大きく伸びる可能性はあるのではないかと。</li><li>・ 工場誘致には可成の成功を収めて来たとは思いますが昼間人口と夜間人口に差はないのだろうか。若い子育て世代に聞いてみると以下の3点で大津町に対する不満があるようだ。<ol style="list-style-type: none"><li>① 大津町で開発される住宅地は中心市街地（役場やJR肥後大津駅）から遠かったり、元々畑作地帯だった高台に多く、徒歩や自転車での移動に不便である。</li><li>② ショッピングが楽しめる施設がない。遊ぶ場所が少ない。</li><li>③ 熊本県は県立高校に学区制が敷かれており熊本市内の進学校に入るのに不利である。</li></ol></li><li>・ 上記3点を緩和できれば、若い世代に大津に住むことを望んで貰えると考えます。これからの若い世代に多く住んで貰う為には、平坦地に多くの優良宅地の供給とショッピングの楽しめる商業施設の誘致、それに高校の学区制の廃止だが、これは県がからむことであり大変だろうから、当町にある県立高校2校のレベルアップの支援を行っていくことだろう。</li><li>・ 翔陽高校は実業学校としての魅力アップ、大津高校は進学校として毎年旧帝大系大学に10人程度の合格者を出せるようにサポートする必要がある。</li><li>・ 商業地や優良住宅地は国道57号線の南側広がっており、活用しない手はない。早く農振の解除をするとともに、出来れば区画整理事業も必要かと思う。最適なエリアは別添の地図に示した57号線と443号線に囲まれた場所と思われる。ご一考願いたい。</li></ul>  <p style="text-align: right;">以上。</p>

**提出意見 ③**

- ・まち全体の景観形成、自然環境、田園などの保全、観光面についての提案です。
- ・「水」をテーマとしたまち全体をフィールドミュージアム（野外博物館）に仕立てる。構想する。
- ・地形から、世界の阿蘇の誕生～カルデラ～タケイタツノミコト神話～水の流れ～大津に恩恵をもたらした。上井手（用水）、清正公からの水利事業によって、豊かな水文化をもたらし、我々が恵みを受けています。すでにソスイ百選にも選ばれており、この度には「世界かんがい施設遺産」にも認定されました。これを軸としてとらえ、このまちの最大の宝を磨き上げていかなければなりません。ストーリー性のある、まちづくりと20年後～持続可能な魅力ある誰もが足を止めて休憩、昔の宿駅の良さを蘇らせるような、九州の中心になれる（交通の要でもある）可能性を秘めていると思います。今ある田園風景を守り、維持できるように水田として（かんよう）常にそうしておいてもよいと思われるし、例えば、ゴルフカート8人乗りのような乗り物を肥後大津駅北口からまちの水路～田園地帯へ周遊させたり、これがいつの日か高齢者の買物場所までの足になったりしても良いわけで、ちょこっと数時間観光ルートを民間の有志でつくっても良いし、官民が協力しあって、まちの良さをアピールしていきたいと願ってやみません。カートの運行はホンダに開発してもらってどちらの宣伝にもなる。水が豊かだったからこそ国の酒精工場→アルコール工場が誘致されて、その原料のからいもづくりも盛んになった。その歴史ももっと前に出しておくべきだと思いますし、それ以前には先人の多大な努力と苦勞の末のこの水の流れを作ってくださったことにより、大水と言われた大津が発展していったわけですので、歴史伝承館にはたくさんの資料がありますので、掘り出していきたいです
- ・からいものアピールはもう十分だといえます。なぜならそれでは人はもう先々呼べないからです。感動も感謝もありがたさもわからないのです。そしてこういう「食」のことはこれからの時代ではない。（ご当地スイーツ開発で〇〇など）全てが歯車のようにまわっていく時に後で必ずついてくるものなのです。都市計画に向けてまずは、この大地に感謝し、当たり前を受けていると思っている環境への感謝をしながら、色々なことを考える時に、道は開けてくるのではないのでしょうか。
- ・通りすがりの場所ではなく、参勤の第一の宿駅であったようにここでしっかり休み全てに必要な身支度を整えて、新たな移動先へ「いってらっしゃい！」と笑顔で送り出してあげようではありませんか。マニアックな町としてそれぞれ個性あふれる店や魅力的なひと、他のまちにない、このまちならではの洗い出して、おもてなし、お接待の心が大事だと思っております。上井手沿いというまちすじのレトロ景観整備や旧街道ひとつのテーマで整備をするにしても時代背景を考えた一定の修繕方法（ブロック塀、コンクリート選びにしても周囲との景観を重視）でつくり上げていかなければ面白みも美しさもありません。上井手沿いには石橋、眼鏡橋が5基も残っており、とても珍しいことですし、そういったすでにあるお宝を眠らせておくわけにはいかないと思うのですがいかがでしょうか？旧家を保っておられる建造物にも少し補助をしてもらおう等、江藤家だけが蘇ってもその周りがある物語があるのでですからそれとともに生かしたい。基本構想の自然環境、景観形成の都市づくりの基本的課題P90[p90]のところ当たりの内容になります。
- ・米作りも盛んであり（それでは水の恵みがあり）水車業が発展し、小作人が江藤家お米を馬の背に乗せて運んで行ったという。田園の水路沿いの農道（たくさん残っています）歩いてみるととても美しい景観→これは歩いて歩かれます。歩くことによって自転車でもカートでもバギーでもトラクターでも良いですが、色々な土地の営みが経歴を感じとれます。そんな場所、美しい景観があることを17年間住まわせてもらって知りました。きっかけは肥後大津アルコール工場があったからこそ、この大津に移住してこれたのです。ご縁のあったこの大津が真の意味で輝き水ものがたりが再び蘇り流れ、後世にまで続きますよう願ってやみません。いろいろなアイデアは浮かぶのですがこれを現実にはベクトルを正し、本当の肥後の大津に、九州のへそ、中心になれるよう。私どもも力を合わせて和していきたいと思っております。よろしくお願い致します。
- ・ひごのおおづか おおづのひごか よいよいよいとこ ひごおおづ(大津のうたです。大津小唄?)

#### 提出意見 ④

- これだけの資料を作成した皆さまの努力に敬意を表します。
- ただ、総じてボリュームが多くなかなか読み切れない。例えばこれらをまとめた概要を 2-4 ページで添付してあるともっとわかりやすく多くの意見が求められると感じた。
- このプランの計画期間は「平成 31 年から概ね 20 年後まで」とあるが、実際は平成 12 年からスタートしている。平成 21 年から平成 30 年までの実績をもう少し丁寧に知りたい。
- 大津町の歴史や現状(人口変動や都市性格など)がよくわかる資料になっている。
- この計画のゴールである 20 年後までに、世の中の流れが IoT や少子高齢化や働き方改革などでどのように変化していくのか?を考えて、その流れと大津町都市計画との関連性が知りたい。逆に言えば、大津町として 20 年後はどういう町になるべきか?という点で、P55[P55]に記載されているビジョン「夢と希望がかなう 元気大津」というものは一般的過ぎて曖昧に感じる。第 6 次総合計画の施策大綱として挙げている 6 つの柱は、町全体に気配りをする必要から理解できるが、限られた予算と人の制約の中でこれを実施するとどのような状態になっているのかがわかりにくいので、もう少しわかりやすい(定量的な)目標値を上げられないものだろうか?
- また「上位・関連計画の整理」とあるが、それぞれの計画の関連性がつかめないで、どの計画の優先度が高いのかわからない。最初に書いたように、全体を一度に俯瞰できる何らかの補助資料なり図表なりがあるととても活発なアイデアが出そうな気がする。
- この計画を見ている人は様々であり、それぞれに重視するものが違うのは当たり前ではあるが、大津町という地方自治体としての将来を見据えて計画の優先度をつける方が良いのではないだろうかと感じている。
- 住民意向調査結果では、比較的高齢者に調査母数が偏っている。したがって、これ以降の調査結果において「福祉」が重視されるのは当然であろう。大津町民の考えた方は人口に応じた分だけ存在するはずであり、その人達の理解を進めるための説明(伝え方)の工夫が求められているのではないだろうか。
- 繰り返しになるが、確かに 5 (P89[P89])では一覧表の形になっているが、このような文字の羅列ではなく、系統的で集团的(ブル図のような)な全体俯瞰が欲しいと思う。個別の図表は理解できるが、多くの施策の関係性が見えなければ、それぞれの施策が持つ意義が伝わりにくいとを感じる。
- 最後に、個人的な考えとしては大津町の経済を活性化することが一番優先される事だと思う。地産地消のような自己完結型ではなく、いろいろなコンテンツやサービスを広域(熊本市都市圏から九州全域の経済圏)で循環させていくための施策が中心にあり、その実現へ向けた土地改良や防災、福祉がつながるような相互に関連した都市計画になれば良いのではないかと思う。そうすれば施策の優先順位が明確になり、予算や人の投資計画もわかりやすくなるのではないだろうか。

以上。